

近年の大型台風や大規模地震等の災害から住民の生命・財産を守るための対策を推進

■ 災害時避難所となる中学校体育館への空調機設置事業等 (43億1,300万円)

- 令和4年度までに災害弱者(高齢者等)のセーフティネットとして、避難所となる中学校体育館(全128校)に空調機を設置
 - ・ 避難所の暑さ対策に加え、教育現場の熱中症対策に効果的であることから、部活動実施時にも活用

	R2年度	R3年度	R4年度
実施設計	56校	- 校	- 校
設置工事	24校	102校	2校
設置済校	24校	126校	128校

拡 ■ 災害時避難所の非常用電源の確保 (2,500万円)

- 災害時における地域本部・避難所等の情報収集のための非常用発電機を設置
 - ・ 令和3年度は、未配備の避難所(新型コロナ濃厚接触者の区指定避難所を含む)に対して254台を配備
※令和2年度に避難所となる小学校に360台を配備済

■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成等促進事業 (2,300万円)

- 大阪府による浸水想定区域の見直し等により、新たに計画作成が義務付けられる施設や計画変更が必要な施設(約5,500施設)に対し、令和3年度中の計画作成に向けた支援を実施

防災体制の更なる充実・震災対策の推進②

防災力の強化

■ 緊急交通路の無電柱化 (19億3,300万円)

- 緊急交通路の重点14路線のうち、広域ネットワークの形成などの観点から3路線を最優先に、電線共同溝整備を実施

■ 埋立地における浸水対策 (12億3,900万円)

(うち、一般会計: 7億2,300万円)

- 台風の高波等による浸水被害の最小化を図るため、過去最大規模の台風(伊勢湾台風級)を想定した埋立地の浸水対策を実施

■ 大阪駅前地下道東広場の防災・減災対策 (13億5,200万円)

- 老朽化が進行した建造物の改築・リニューアルを実施

■ 南海トラフ巨大地震に対する耐震対策 (69億2,500万円)

- 堤防・橋梁等の耐震対策 (68億8,900万円)

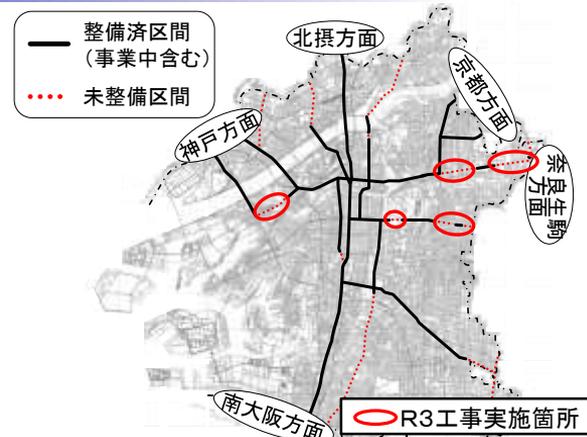
- ・ 令和5年度までに海岸・河川堤防の液状化対策等を実施
- ・ 災害時の緊急交通路及び避難路に架かる既存橋梁の対策を実施

- 鉄道における耐震対策 (3,600万円)

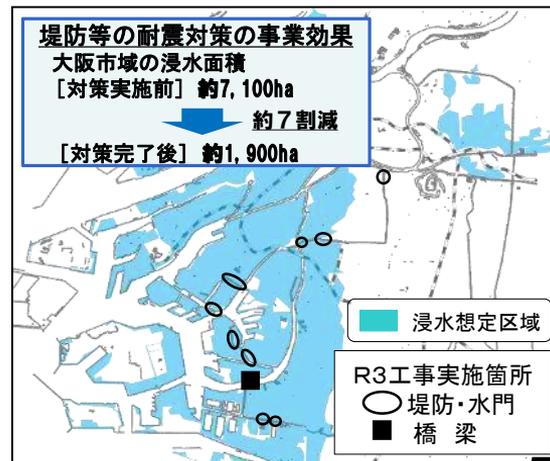
- ・ 民間鉄道事業者が行う高架橋及び駅の耐震補強に対して補助を実施

■ 密集住宅市街地整備の推進 (20億1,500万円)

- 新たな「密集住宅市街地整備プログラム」(令和3年3月策定予定)に基づき、老朽住宅の除却・建替え等への支援及び都市計画道路の整備を実施



緊急交通路の無電柱化 重点14路線



南海トラフ巨大地震に対する耐震対策箇所